

■ 銘柄: 東京金 ■

氏名: 宮永 正人

株高・ドル高・金安の流れが続く

日経平均株価・東京金先限・ドル/円日足3銘柄比較チャート



■ コメント ■

東京金先限終値 2,828円 (前日比 - 2円) (1日 18:30 宮永)

国内はGW前で薄商いの値動きで終了。

米株高とドル高の流れが続き、安全資産の逃避買いが薄れつつあることから金市場には圧迫材料。注目されていた5月4日の米金融機関ストレステスト公表が延長される見通しとなり、市場は膠着状態になったようだ。

どうやら米国当局と金融機関側が公表の内容・方法で食い違いがあり、話がまとまっていないようだ。最近の市場は、イベント前に敏感な反応を示して乱高下し、結果が発表されれば値段が動かなくなる場合が多い。GW後には、7日にECB定例理事会、8日には米雇用統計の発表が注目されており、ここは一つのポイントとなりそう。

現状のトレンド分析では、株高・ドル高のトレンドで推移。

豚インフルエンザの材料は、週前半では大きく反応したものの、パンデミックではないとの見方から一服してきている。

金チャートは、レジスタンスラインの流れは変わらずで緩やかな弱気ムード。

株高とドル高で金の上値は抑えられ、戻り売りのスタンスは変わらないだろう。

上記のチャートで比べて見ればトレンドの流れが分かるはずだ。

サポートライン上の日経平均株価とドル/円チャートとレジスタンスラインの流れの金チャート。

株高・ドル高・金安の流れは続きそうだ。

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。

詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている「取引の重要事項」をご確認ください。